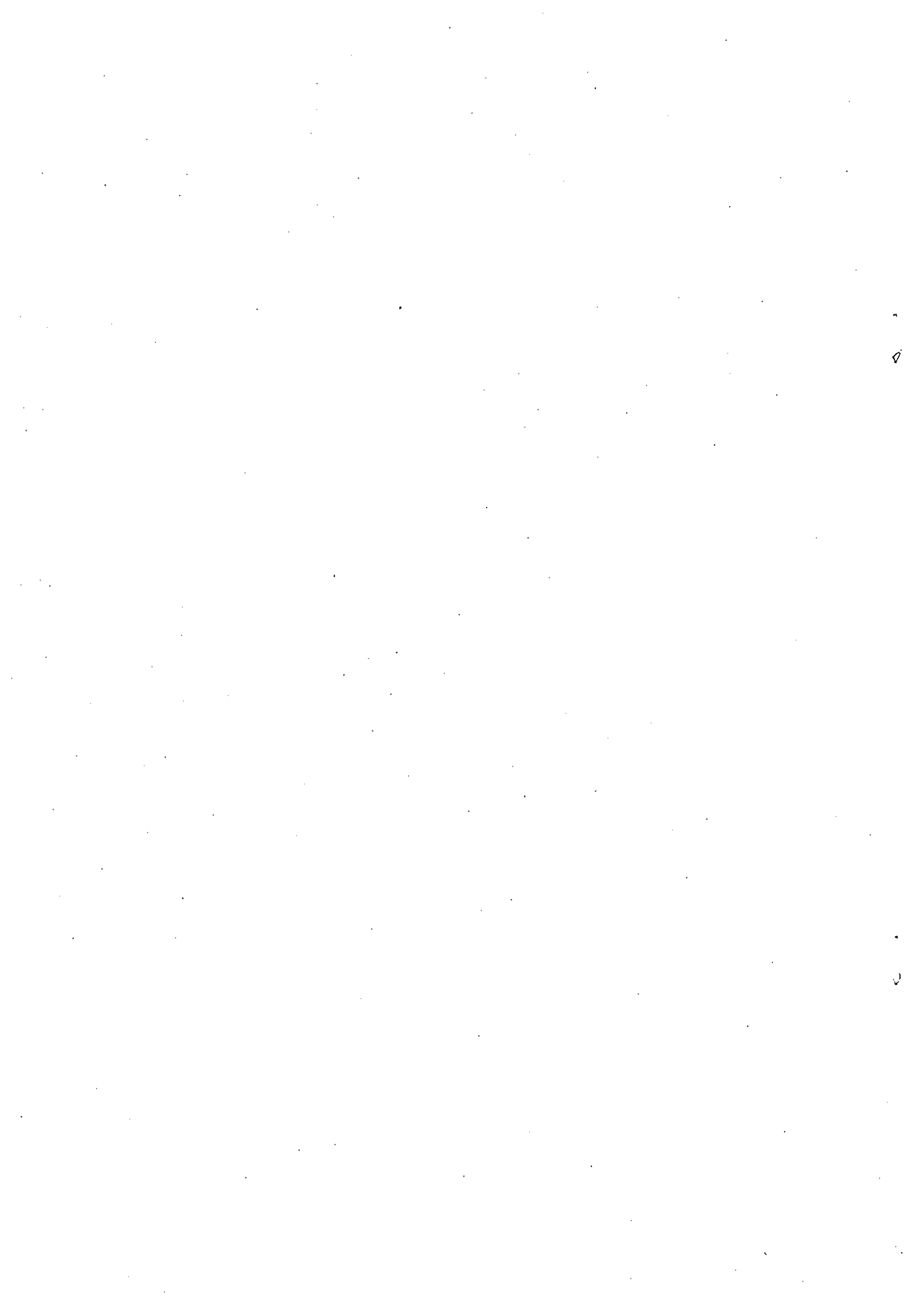


農林水産商工常任委員会提出資料

(平成29年2月24日)

項 目		ページ
1	1月23日及び2月9日からの豪雪による農林水産業の被害状況について 【とっとり農業戦略課】	別紙
2	鳥取県カワウ被害対策指針の策定に向けたパブリックコメントの実施について 【生産振興課、水産課】	1
3	鳥取県とスターフェスティバル（株）との鳥取県中部地震“福興”キャンペーンの実施について 【販路拡大・輸出促進課】	3
4	伊勢丹新宿本店での鳥取フェアの開催について 【販路拡大・輸出促進課】	4
5	首都圏での「とっとりジビエ」のPRについて 【食のみやこ推進課】	5
6	一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、水産課】	6

農 林 水 産 部



鳥取県カワウ被害対策指針の策定に向けたパブリックコメントの実施について

平成29年2月24日
 緑豊かな自然課
 生産振興課
 水産課

この度、本県におけるカワウによる漁業被害の軽減を目的とした「鳥取県カワウ被害対策指針（案）」を策定するにあたり、広く県民の意見を求めるためパブリックコメントを実施する。

1. 指針の目的

全県的な生息数・被害状況の把握、水産業等に被害を与えるカワウの捕獲等による個体群管理、追払い等の被害防除対策、魚類等の生息しやすい河川環境の整備など各対策を並行して実施するため、関係機関の推進体制等を定め、カワウによる漁業等被害の軽減とカワウ個体群の長期的な管理を図る。
 （計画期間：平成29年～31年）

2. 指針（案）の概要

対 策	実 施 内 容	実 施 体 制
生息数・被害状況の把握	○モニタリング ①営巣地等での生息数の調査を実施 各営巣地（春～冬の4シーズン） ②飛来数の調査を実施 →対策の効果検証に役立てる 3河川流域（千代川、天神川、日野川）	毎年、継続的に実施 ①県が実施 ②県及び漁協が実施
個体群管理	○捕獲等によるカワウの個体数の抑制 ①河川における空気銃等による捕獲 ②営巣地における効果的な管理方法の試行	①市町村又は漁協が実施 ②専門家の助言を聞きながら県が実施
	○新規営巣地の抑制 定期的な見回りと、新規営巣地の発見時は早期に除去 ※隣県の最大の営巣地である中海では、環境省、島根県、関係市町村及び地元関係者等と協議するなど対策を強化	県及び漁協が実施
被害防除対策	○漁場からのカワウの追払い等 ・漁場の見回り、花火や銃器等を用いた追払い ・テグス張り、案山子設置等の着水防除による追払い	漁協等が実施 ※県又は市町村がその取組を支援
魚類等の生息しやすい河川環境の整備	○河川環境の整備等 ①魚の隠れ場所、産卵場等の整備 ②魚類等の遡上阻害箇所（堰堤、魚道等）の改善 ・関係者との合意形成 ・改善方法を協議して整備等を実施	①漁協が実施 ②県、漁協、河川管理者、専門家及び地域住民等の関係者で協議して整備等を実施

3. 意見募集方法

- (1) 募集期間 2月下旬～3月（2週間程度を予定）
 (2) 応募方法 様式は自由。郵送、ファクシミリ、電子メールにより、県庁県民課、東部生活環境事務所、総合事務所等へ送付。

4. 指針の策定

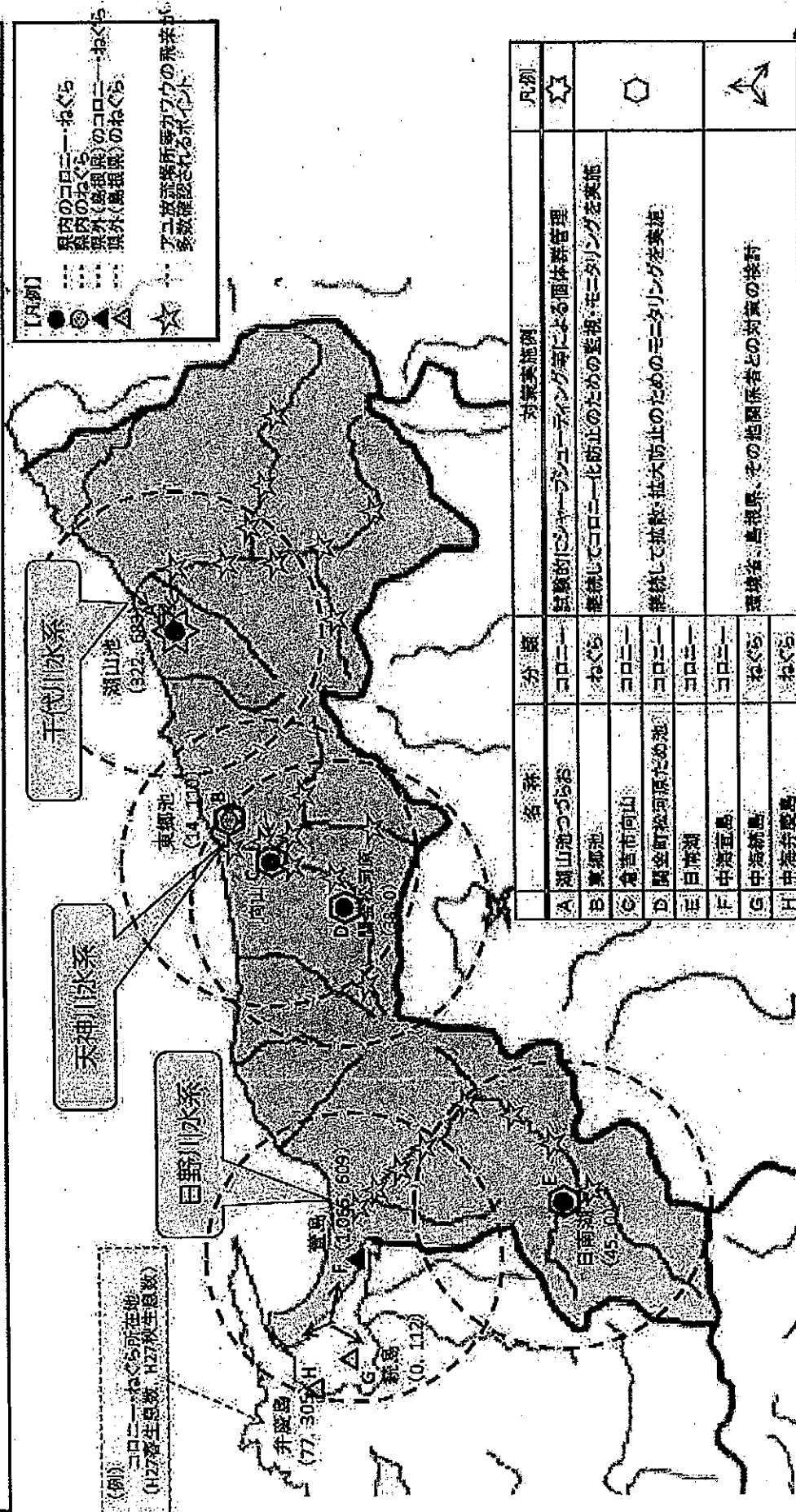
パブリックコメントの意見を踏まえて必要な修正を行い、3月末日までに策定する。

5. 指針策定の経緯

カワウによる水産被害を軽減するために内水面漁業協同組合、保護や捕獲等の有識者、市町村や国等行政などの関係機関が集まり、必要な対策指針を策定することへの合意形成を図るため、関係者による対策会議等を実施する。

- ・平成21年7月「鳥取県鳥獣被害対策連絡会議カワウ対策部会」の設置
- ・平成28年7月、平成29年1月「鳥取県カワウ繁殖抑制対策検討会」の開催
- ・平成28年9月～平成29年1月「カワウ被害対策プロジェクトチーム会議」の開催（3回実施）

水系別被害対策実施ビジョン（全県域版）



【凡例】

- 県内のコロナーねぐら
- ◎ 県内のねぐら
- ▲ 県外(島根県)のコロナーねぐら
- △ 県外(島根県)のねぐら
- ☆ アニ放流場所等がワウの飛来が多数確認されるポイント

【例】 コロナーねぐら所在地
(127) 産生鳥数, (127) 秋生鳥数

名称	分類	対策実施例	凡例
A 湖山池つらね	コロナー	継続的にシャワー・シューティング等による個体群管理	☆
B 東池池	ねぐら	継続してコロナー化防止のための監視・モニタリングを実施	○
C 倉吉市向山	コロナー	継続して拉射・捕食防止のためのモニタリングを実施	△
D 関空町松河原ため池	コロナー		
E 白滝湖	コロナー		
F 中津直島	コロナー		
G 中海新島	ねぐら	環境省・鳥池原、その他関係者との対策の検討	▲
H 中津直島	ねぐら		

点線内により、各コロナーからのワウの飛行範囲(半径15km)を示して、ワウの飛行能力を考慮すると、各河川の全域に飛来することが可能であり、場合によっては県境の端から飛来して飛来することもある。また、各河川の全域に飛来することもある。したがって、飛来防止対策は、各河川の全域にわたって実施することとする。コロナー間の距離もまた、飛来防止対策の検討に必要である。コロナー間の距離もまた、飛来防止対策の検討に必要である。

鳥取県とスターフェスティバル（株）との鳥取県中部地震“福興”キャンペーンの実施について

平成29年2月24日
販路拡大・輸出促進課

インターネットを活用した弁当デリバリーサービス「ごちクル」の全国展開などのインターネットサービス事業を進めているスターフェスティバル（株）（岸田祐介代表取締役社長）と「『食のみやこ鳥取県』等に関する協定」を締結するとともに、鳥取県中部地震“福興”イベントを下記のとおり開催しました。この取組は、地震被害によるマイナス影響をゼロに戻すだけでなく、プラスに転じていく“福興”に向けた取組として位置づけています。

記

1 主な内容

- (1) 日 時 平成29年2月14日（火）
- (2) 場 所 アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」2階 ビストロカフェももてなし家
- (3) 概要

○鳥取県とスターフェスティバル（株）との協定調印式

【協定内容】

- ・ 県内産の農林水産物等の商品開発及び販売に関すること
- ・ 災害時における弁当手配・配達などの便宜供与
- ・ インターネットサイトなどでの観光誘客に係る情報発信、企業などへの観光情報発信の協力

○福興トークイベント

福興弁当の紹介と合わせた食のみやこ鳥取県のアピール

- ・ 福興弁当に使用した鳥取県食材（ベニズワイガニ、鳥取地どりピヨ、とうふちくわ、ねばりっこ）のPR
- ・ ゲスト等による福興に向けた意気込みや観光誘客のPR

福興弁当：スターフェスティバル（株）がインターネット販売する鳥取県産食材を使用したオリジナル弁当。
平成28年11月21日から平成29年3月末まで販売し、売上の一部は「鳥取県中部地震復興がんばろう寄附」に寄附される予定。（上記弁当のほか「銀座あさみ」監修の県産きぬむすめを活用した弁当も販売中）

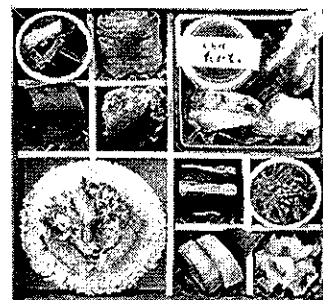
2/14～3/14まで、サイト上で鳥取県への旅行券や特産品が当たる福興キャンペーンを実施。

【参加者】

平井知事、「京料理たか木」高木オーナーシェフ（福興弁当を監修したミシュラン2つ星の店（兵庫県芦屋市））、とっとりふるさと大使 上田まりえ、みよーちゃん

2 アンテナショップにおける関連イベント

- ・ 1階での県中部の特産品等の販売コーナーの設置（2/14～2月末）
- ・ 2階レストラン「ももてなし家」での福興弁当の販売（2/14～2月末）
- ・ 鳥取県中部地震復興パネル展示（2/14～2月末）
- ・ ふるさと納税「がんばろう寄附」PRブース設置（2/14）



福興弁当「たか木×食のみやこ鳥取御膳」

（参 考）

スターフェスティバル株式会社の概要

インターネットを活用した弁当デリバリーサービス「ごちクル」やデリバリー型社員食堂「シャシヨクル」などを運営するインターネットサービス事業者。

自社で弁当を製造するのではなく、弁当会社、宅配事業者及び消費者をインターネットでつなぐIT企業で、全国47都道府県でサービスを展開。

【ごちクルについて】

ワンコイン弁当から有名料理人とコラボしたお弁当まで、インターネットから注文するデリバリーサービス。現在47都道府県でサービスを展開し、800ブランド約8,000種のメニューを展開。製造・配送パートナーと連携し一気通貫して行う独自のビジネスモデル。また、売上の一部が東日本大震災の寄附に繋がる「復興支援弁当」やふるさと納税応援弁当などの企画開発も行う。熊本地震の折には、復旧作業員用に合計10万食の弁当を提供。

伊勢丹新宿本店での鳥取フェアの開催について

平成29年2月24日
販路拡大・輸出促進課

鳥取県の魅力を発信する、「IRO TORIDORI TOTTORI」（いろ とりどり とっとり）をテーマに、鳥取県の持つ衣食住の様々な魅力と、伊勢丹の視点やアイデアを掛け合わせることで、鳥取県の新たな価値観を多面的に発信するフェア「鳥取県×ISETAN コラボレーションプロジェクト」を下記のとおり開催しました。

オープニングセレモニーには、知事とともに鳥取市出身で「とっとりふるさと大使」の瀧本美織さんが参加し、「昨年の鳥取県中部地震、今年1月、2月の大雪と大変の中でも皆さんが前向きに頑張ってもらってらっしゃる姿に勇気づけられた。今回は多くの方に鳥取の魅力を知っていただける機会になる。ぜひ鳥取に遊びに来てください。」とアピールしました。

記



1 実施期間

平成29年2月15日（水）～20日（月）6日間

2 実施会場

伊勢丹新宿本店 本館地下1階～7階、メンズ館

3 フェアの概要

【味 (AJI TORI DORI)】

- ・松葉がに、鳥取和牛のローストビーフ、ジビエ(鹿肉)のロース、大山豚、とうふちくわ、いただき、きぬむすめ、大山牛乳を使用したスイーツ等の販売
- ・「千代むすび酒造」の日本酒2種類飲み比べセミナー
- ・源吉兆庵「RAIKA」での県産花御所柿を活用した和菓子の販売、県産いちごを活用したメニューの提供
- ・レストランでの鳥取食材（鳥取和牛、原木椎茸、大山どり等）を活用した特別メニューの提供

【人 (HITO TORI DORI)】

- ・鳥取県出身の民藝運動家吉田璋也により復興された鳥取を代表する陶芸「牛ノ戸焼」や若手作家によるクラフト（ガラス製品、木工製品）の販売
- ・鳥取県の民芸のショップ「ココロストア」出店（「国造焼」、「福光焼」、「大塚刃物」等）

【技 (WAZA TORI DORI)】

- ・弓浜緋を使ったバッグ、札入れ、カップホルダー等の販売
- ・鳥取発のラグジュアリーバッグブランド「バルコス」の特設コーナーの設置
- ・「オニツカタイガー」（スポーツファッションシューズ）等の特設コーナーの設置

【その他】

- ・5月24日の大山御輿行幸にあわせた鳥取県ツアーの販売（2泊3日）
- ・大山1300年祭PRブースの設置
- ・鳥取県中部地震復興募金箱の設置
- ・コナン・鬼太郎を活用したまんが王国ととりのPR

(お客様の反応)

- ・とうふちくわやいただきなどの鳥取ならではの郷土食が特に人気が高かった。
- ・大山1300年祭PRブースで、鳥取県に来たことがある人などが懐かしそうに展示に見入ったり、また行ってみたいなどの感想があった。
- ・伝統工芸や食だけでなく最新ファッションなど、まさに色とりどりの展開となっておりお客様の評判も良かった。

首都圏での「とっとりジビエ」のPRについて

平成29年2月24日
食のみやこ推進課

この度、首都圏での県産ジビエの消費拡大を目指して、岡山県と合同でジビエ料理や革製品等のPRを行うイベント「森のめぐみをいただく～鳥取・岡山のジビエ～」及び「とっとりジビエフェア」を開催しました。

<「森のめぐみをいただく～鳥取・岡山のジビエ～」>

- 1 日時 平成29年1月20日（金）～22日（日）午前10時～午後5時
- 2 場所 とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース
- 3 内容

(1) イベント

ジビエ料理デモンストレーション&試食会、精肉・加工品の販売、ジビエ試食コーナー、革小物の手作りワークショップ、狩猟シューティング体験 等

(2) レストランでのジビエ料理（鳥取県イノシシのポトフ、岡山県シカロース煮等）の提供

ア 場所：アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」2階ピストロカフェ
ももてなし家

イ 期間：1月20日（金）～2月28日（火）

4 鳥取県中部地震復興支援の取組

- (1) 倉吉農業高校が開発したジビエ加工品の販売
イノシシウインナー、イノシシジャーキー、焼き猪
- (2) ジビエに合うワインとして、北条ワインを販売



5 来場者の声

- (1) 来場者数 約850名（20日150名、21日350名、22日350名）
- (2) 来場者の声

「骨付きシカスモーク（試食）は、臭みが無く、非常に食べやすく美味しい。」

「飲食店をしているが、是非使ってみたい。」

「レストランで両県のジビエ料理を食べ比べ出来ることもあり、ジビエ好きとしては大変嬉しい。」など高い評価。

<とっとりジビエフェア>

- 1 日時 平成29年1月24日（火）～2月24日（金）
- 2 場所 都内イタリアン・フレンチレストラン（10店舗）

ジャンル	店	シェフ	来県（※）	メニュー例
イタリアン	清澄白河フジマル醸造所	キムラ 木村 有希	○	【鳥取県産鹿肉のテリーヌ】等
イタリアン	タニーチャ	茶谷 公一	○	【鳥取県産シカ肉とフォアグラのパイ包み焼きポートのソース】等
イタリアン	レストランテグラナータ	大谷 誠男	○	【猪肉のグリル】等
イタリアン	レストランテ ラ・チャウ	荒井 直樹	○	【鳥取県産鹿肉のソテー ビネガーソース】等
イタリアン	Antirichi Saponi (アンティキ・サポニ)	山崎 大輔		【鳥取県産鹿肉と野菜のティエツラ】等
イタリアン	ダ オルモ	北村 正博		【鳥取県産猪肉のプロシュートコット】等
フレンチ	新宿中村屋 新宿ビル グランナ	片岡 大輔	○	【鳥取県産イノシシ肉のテリーヌ】等
フレンチ	センチュリコート 丸の内ロゼット	鏡 智行	○	【若桜ニホンシカのロティ ジュ・ド・シュブイユ 大山プロッコリーと原木椎茸】等
フレンチ	レストラン KARADA	カイラダ ヨウキ 皆良田 光輝	○	【本州鹿（鳥取）とフォアグラのパイ包み焼き ポワヴレードソース】等
フレンチ	ピストロ シンバ	菊地 佑自		【鳥取猪とフォアグラのテリーヌ】等

（※）11月5日～6日とっとりジビエの夕べに出席され、県内視察されたシェフ。

3 参加店舗の声

- ・お客様から大変好評。甘味あふれるよい脂を蓄え、旨味たっぷりのイノシシ肉。
- ・現地視察を通じ、ジビエが生産される環境や、美味しさについて、お客様に説明出来ることから、評価が高い食材となっている。
- ・ジビエは、産地の環境が肉質を決めるだけでなく、その後の処理が肉の状態を左右する。素材が良ければ、おいしく仕上がりが、料理の幅も広がる。その点で、とっとりジビエに魅力を感じる。今後、ジビエの季節には、継続的に使っていきたい。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成 29 年 2 月 24 日
水 産 課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	工事内容	摘 要
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業陸送上屋他新築工事(電気設備)(電気設備)	境港市 昭和町	境漁港高度衛生管理型市場整備事業陸送上屋他新築工事(電気設備)特定建設工事共同企業体 株式会社中電工 鳥取統括支社 執行役員支社 坂内 未男	225,720,000円 (設計額 228,651,120円) 落札率 98.72%	平成29年2月3日 ～ 平成30年10月31日	平成29年2月2日	【工事内容】 陸送上屋新築に伴う電気設備工事 電灯、動力、受変電、拡声、火災報知、構内配電線路、構内通信線路設備 製氷機械室新築に伴う電気設備工事 電灯、動力、受変電、拡声、火災報知	制限付一般競争入札 2社 平成29年1月25日 開札

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成29年2月24日
農地・水保全課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	備要
農地・水保全課 (東部農林事務所)	大口堰地区水利施設保全 合理化事業(土砂吐下部 工)工事	鳥取市 円通寺	株式会社 大谷組 代表取締役 大谷 廣秋	(当初契約額) 149,040,000円 (第1回変更後契約額) 144,632,520円 (変更額) 〔 Δ4,407,480円 〕	平成28年8月18日 ～ 平成29年5月30日 (変更後工期) 平成30年3月23日	(当初契約年月日) 平成28年8月18日 (第1回変更契約年月日) 平成29年1月27日	農業用取水堰付帯施設(土砂吐ゲート)下部工設置工事 土砂吐下部工 1箇所 杭基礎工 場所打杭12本 (216) 仮設工 仮締切工 延長126m	
							○変更内容(Δ4,407千円) ・近隣住民から土砂吐ゲートの越流音を下げするため、ゲート高さを低くするよう申し入れがあり、その検討に時間を要することから、次年度施工に変更したことによる工期の延伸。 ・仮締切工については、隣接工事(大口堰地区河川工作物応急対策事業頭直工改修工事)と施工分担する予定であったが、本工事の施工見送りに伴い、隣接工事側で対応したことから、その施工区間を減じたことによる減額。	

